

空港一括民間委託開始に伴う道内航空ネットワークの充実に向けた 行動計画(アクションプラン)策定の概要

2020.1

北海道総合政策部航空局

1 策定の趣旨

○ 道では、令和 12(2030)年度における航空ネットワークのめざす姿とその実現に向けた方策を明らかにするため、平成 30(2018)年 3 月に「北海道航空ネットワークビジョン」を策定。

○ 令和 2(2020)年 1 月から段階的に実施される道内 7 空港の一括民間委託は、ビジョンの実現に向けた強力な「推進エンジン」となりうるものであり、今後、空港運営事業者である北海道エアポート株式会社(HAP)との密接な連携の下、より戦略的に取組を展開する必要がある。

○ 空港運営事業者(HAP)は、「マスタープラン」や「中期計画」に基づき、様々な取組を展開していくことになるが、事業を円滑に軌道に乗せるためには、道や地元自治体をはじめとする様々な関係機関の理解と協力が必要。

○ 民間委託外空港においても、機能を向上させ、民間委託空港と連携した活性化を図ることが重要であり、道としても、地域とともに、より積極的な役割を果たす必要がある。

○ 上記を背景として、民間委託の開始を契機に、今後の北海道の航空ネットワークの拡充に向けた道としての重点的な取組や、関係者の役割などを明らかにすることで、ビジョンの実現に向けた取組を加速することを目的として、本アクションプランを策定。

2 位置付け

本アクションプランは、空港運営事業者(HAP)が今後公表予定のマスタープランや中期計画に基づき、最初の(5年後の)目標を達成するまでの間、道が空港運営事業者(HAP)や地域と連携しながら、「北海道航空ネットワークビジョン」に基づき、特に重点的に展開する事項を取りまとめるものである。

3 策定主体

北海道 ※空港運営事業者(HAP)や地域の意見も踏まえて策定

4 計画期間

令和 2(2020)年度～令和 6(2024)年度(5年間)

5 策定スケジュール

令和 2(2020)年 1 月～	地域との意見交換
2 月	アクションプラン(骨子)作成
2 月～	有識者及び 7 空港協議会との意見交換
3 月末	アクションプラン(素案)作成
5 月	空港運営事業者(HAP)マスタープラン及び中期計画公表
6 月	アクションプラン(案)作成
7 月	アクションプラン策定・公表

